

産学官連携事業の記録「パールズコレクション 2020 in 志摩」

向山久子・白坂 文・千田啓互・齋藤耕一・山口眞理・青山佐喜子

Records of Industry-Academia-Government Collaboration Project ～ Pearls Collection 2020 in Shima ～

Hisako MUKAIYAMA, Aya SHIRASAKA, Keigo SENDA, Koichi SAITO,
Makoto YAMAGUCHI and Sakiko AOYAMA

Abstract

Under a comprehensive agreement with Shima, Mie Prefecture being conducted as an industry-academia-government initiative by our college, “Pearls Collection 2020 in Shima” was held to promote Akoya pearls, a specialty of Shima, and provide an opportunity for students to display the fruits of their studies. At the event, the students presented in two sections on the theme of “Wedding,” a life event closely associated with pearls. The students prepared for “Pearls Collection 2020 in Shima” during their classes at the college in each of their specialty courses. This presentation was a culmination of their first year of study. Besides reaffirming to the people of Shima the wonder of pearls, this event also led to improved attitudes to study among students. In this paper, we will report on the process, starting from initial preparation in class all the way to the event itself, as well as on a student questionnaire that showed their level of growth during this time.

Keywords: Industry-academia-government collaboration project 産学官連携事業,

Akoya pearl アコヤ真珠, Industrial promotion 産業振興,

Presentation of the educational achievement 学習成果発表,

Pearls collection パールズコレクション

1. はじめに

2019年4月に三重県志摩市と結んだ包括連携協定に基づき、産学官連携事業の一環として昨年に続き「パールズコレクション 2020 in 志摩」(以下、パールズコレクション)を開催した。イベント開催の目的としては、三重県志摩市特産のアコヤ真珠のPR、そして本学のキャリア創造学科4コース、製菓ク

リエイトコース(以下、製菓)、ファッションデザインコース(以下、ファッション)、ブライダルデザインコース(以下、ブライダル)、ビューティーデザインコース(以下、ビューティー)の学生がそれぞれの学習成果を発表することである。

本報では本学学生の取り組みの記録と結果について報告する。

2. パールズコレクションの概要

2020年2月15日、ホテル志摩スペイン村の1Fロビー「フエンテ」にて開催された。開催に向け、主催の志摩市産業振興部水産課と本学教職員、そして各協力団体と2019年7月より協議を重ねると同時に、本学学生は各コースの「プロジェクト演習Ⅰ」科目において準備を進めた。

イベント参加者は、教職員10名、学生43名（製菓4名、ファッション8名、ブライダル13名、ビューティー18名）であった。

メインイベントとして、第1部「パールウェディングショー」、第2部「ドレスファッションショー」を、サブイベントとして「真珠製作体験」「ネイル体験」を実施、また、フォトブースを製作し、来場者が自由に写真撮影できる場所として提供した⁽¹⁾⁽²⁾。

本学学生の役割分担としては、製菓は第1部ショーでウェディングケーキのデザイン・製作、ファッションは第2部の衣裳製作とモデル出演に加えフォトブースの製作、ブライダルはショー全体のプログラム企画と運営、ビューティーはモデルのヘアメイクと第1部ショーでのヘアメイクチェンジ、第2部ショーのモデルであった。

サブイベントでは、フォトブース装飾をファッションの学生が担当した他、体験ブースは志摩市の立神真珠養殖漁業共同組合女子部と志摩市在住で世界的に活躍される Nail Salon Glitter 天白麻耶氏が担当した。

3. パールズコレクションの詳細

コレクションは志摩市の竹内千尋市長と本学の東田晋三学長の挨拶で開式した（写真1、写真2）。

第1部「パールウェディングショー」では、ブライダルの学生と教員で企画したプログラムに沿って、挙式や披露宴の代表的な演出である、「入場、指輪の交換、ウェディングケーキ入刀、お色直し」の各シーンにアコヤ真珠



写真1. 竹内千尋市長 開式挨拶



写真2. 東田晋三学長 開式挨拶

を取り入れて披露。最近の結婚式では、新郎新婦が一つのテーマやコンセプトに基づいて自分らしさを表現する「テーマウェディング」が主流となっていることから、志摩市特産のアコヤ真珠にスポットを当て企画した。

新郎役は志摩市職員、新婦父役は志摩市真珠養殖業関係者に協力いただき、新婦役は伊勢志摩観光大使「伊勢志摩アンバサダー」を務める尾崎ななみ氏のゲスト出演により、20分のショーを構成した（写真3、写真4）。

新郎や新婦父のネクタイピン、新婦のティアラや指輪にはアコヤ真珠を用いた。ウェディングケーキは、製菓の学生と教員で真珠をイメージしてデザインし、ショーの中では代表学生がコンセプトや工夫した点について発表した（写真5）。



写真 3. 新婦役と新婦父役の入場



写真 4. 新郎役と新婦役の入場



写真 5. ウェディングケーキの発表

指輪交換のシーンでは、志摩市在住の園児がリングボーイ・ガールとして登場、また、結婚記念30年目は「真珠婚」と言われており、新郎新婦の親世代に相当することから、新郎新婦から両親へ感謝のメッセージビデオを披露し、真珠の持つ意味を合わせてPRした。お色直しのシーンでは、本学教員がデザインした2wayのウェディングドレスをもとに、

ドレススタイルからパンツスタイルへの早変わりに加え、ビューティーの学生と教員がステージ上でヘアメイクチェンジを披露、アコヤ真珠を使用したヘアアクセサリを身につけ、真珠が幅広く利用できることもPRした(写真6)。



写真 6. ヘアメイクチェンジの披露

ブライダルの学生はキャプテン、アテンドや音響の役割として運営に関わった(写真7)。



写真 7. ショー全体の音響担当

第2部「ドレスファッションショー」では、三重県立志摩高等学校の高校生4名と本学ビューティー、ファッションの学生がモデル役として登場。第1部に引き続き、ブライダルの学生がアテンドや音響を、ビューティーの学生がモデルのヘアメイクを担当した(写真8)。

モデル役は、ブライダルドレスに合わせてコーディネートしたアコヤ真珠のアクセサ



写真 8. モデル役のヘアメイク担当

リーを、気品溢れる真珠の魅力としてランウェイで披露した。同時に、ファッションの学生は新婦の付添い役であるブライズメイドの衣裳をデザインから企画まで自身で製作し、同じくアコヤ真珠のアクセサリーを身につけ、参列者も身につけられる真珠のPRに努めた（写真9）。



写真 9. ウェディングドレスとブライズメイドのモデル

今回の新たな取り組みとして、ショーの模様を本学の遠隔システムを使い大阪の天神橋筋商店街「天三おかげ館」に同時配信した。天神橋筋商店街では、買い物客が足を止めモニター越しにショーの様子を目にし、関心を示していた様子から、志摩市の産業振興と本学のPRができた。（写真10）。

サブイベントのブースには、ファッションの学生と教員がウェディングをテーマにしたアイテムを製作し装飾、一般来場者の写真



写真 10. 天神橋筋商店街への同時配信

撮影ブースとして提供、撮影者にはSNSで拡散してもらい志摩市と本学のPRとなった（写真11）



写真 11. フォトブース

4. メディア情報

パールズコレクションに関するメディア情報は下記のとおりである。

- ・伊勢新聞ネットニュース

<https://www.isenp.co.jp/2020/01/17/40727/>（最終閲覧2020年11月6日）

- ・志摩市観光協会ページ

https://www.kanko-shima.com/html/event_det.php?no=2131311231264459（最終閲覧2020年11月6日）

- ・三重県地域サイト

<http://genki3.net/?p=136383>（最終閲覧2020年11月6日）

- ・伊勢新聞2020年2月17日掲載（写真12）



写真 12. 伊勢新聞掲載記事

5. 学習成果のアンケート実施

産学官連携事業が学習成果発表の場ということだけではなく、今後どのような影響をもたらすのか、どのような能力が身についたのかななどを明らかにする為、アンケートを実施。集計結果の詳細は下記のとおりである。

5.1. パールズコレクション参加の満足度

「とても満足」が53%、「満足」が47%で、非常に高い満足度であった(図1)。

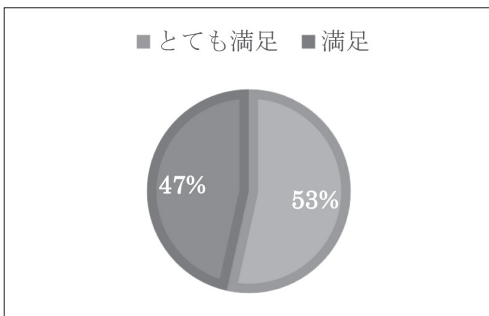


図 1. 参加の満足度 (n=43)

5.2. 参加することで、どのようなことが身についたか? (複数回答)

「行動力」、「協働する力」、「製作力」の回

答が多く挙げられた。産学官連携事業の取り組みを行うことで、社会で求められる能力を身に付けることができ、発表時だけでなく前もって作り上げ、完成させるまでの長い時間に協働して目標に向かうことで、身に付いたと考えられる(図2)。

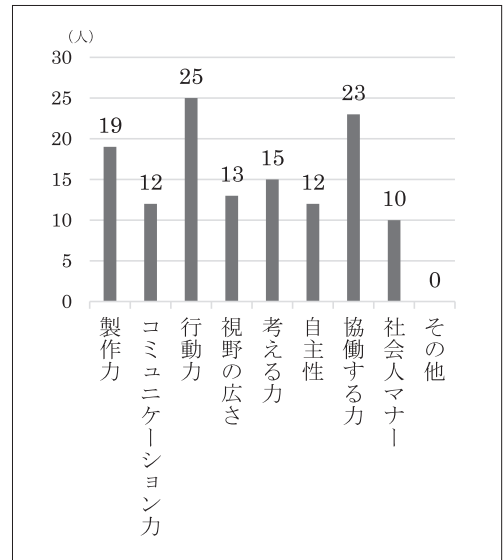


図 2. 参加して身に付いたこと (n=43、複数回答)

5.3. 他コース学生との交流はできたか?

「できた」が最も多く58%、「とてもできた」と合わせて約7割が交流できたと回答。一方「できなかった」「全くできなかった」の回答も合わせて32%あったが、製菓やファッションの学生は、他コースとの関りが少ないこと

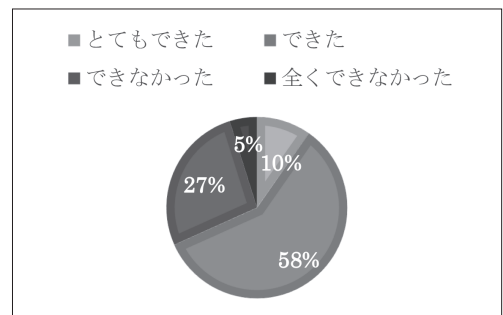


図 3. 他コース学生との交流 (n=43)

から、各コースやそれぞれの役割分担の違いが影響しているようである（図3）。

5.4. 学外の方との関わりはできたか？

5.3.と同様に「とてもできた」「できた」を合わせて約7割の回答。「できなかった」「全くできなかった」を合わせて約3割の回答では、志摩市関係者や高校生と関わる役割ではなかった学生に偏りが見えた。（図4）。

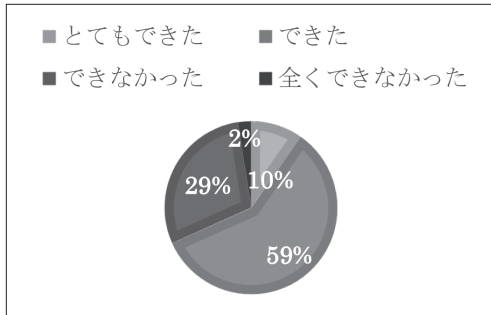


図4. 学外者との関り (n=43)

5.5. 今までの学びが役に立ったか？

「役に立った」が90%と高い回答（図5）。

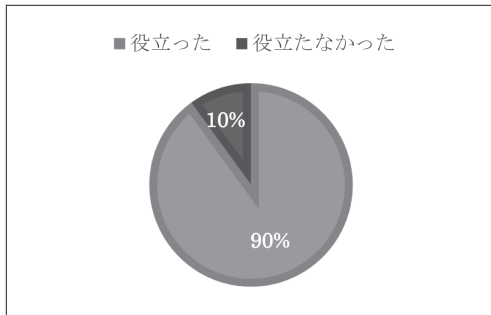


図5. 今までの学びが役に立ったか(n=43)

具体的には？との問いでは、授業内容が反映された「服飾造形実習」「ウォーキング実習」「メイク実習」や、学内行事の「夕陽祭」に加え、授業時や学生生活において習慣化された行動として「積極的な働きかけ」「効率良く動く」などから得られたという意見が挙げられた。

5.6. 今後に活かそうか？

「とても活かせる」「活かせる」の回答が93%と高い結果となった（図6）。

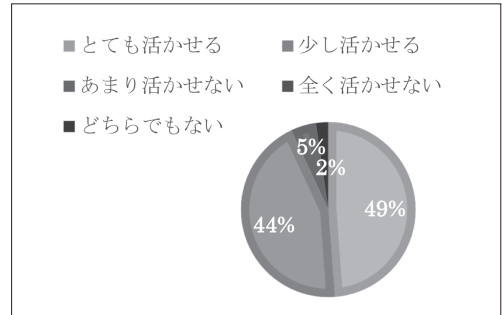


図6. 今後に活かそうか (n=43)

5.7. どのように活かそうか？（自由記述）

全体的に就職活動に活かせるという意見が多く、積極性や自主的、協働などの意見に加えメイクの発想、結婚式をサポートするスタッフとしての当日の動きなど、専門分野への繋がりも見えた。

- ・自主的に動くこと
- ・就活時の自分の強みとして
- ・就活で話せる
- ・積極性をもって就活できる
- ・自主性をもって行動する
- ・結婚式での動き
- ・周囲と協力すること
- ・初めての人と話す
- ・学外の人とのかかわり
- ・メイクの発想
- ・周りを見る力
- ・積極性
- ・考えて行動する

5.8. 今後、学外イベントに参加したいか？

「参加したい」の回答が86%と、産学官連携事業の成果として一定の評価ができる。一方、わずかではあるが「参加したくない」の回答もあり、全学生の意欲を生み出すまでに

至っていないことは、今後の課題でもある(図7)。

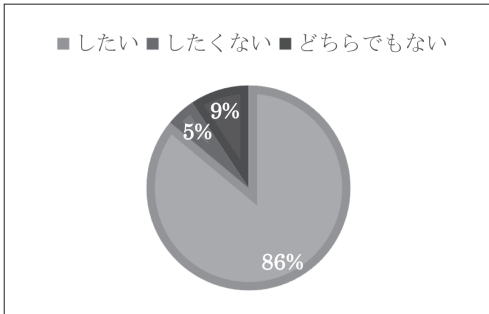


図7. 学外イベントへの参加希望 (n=43)

5.9. 考察

アンケートの結果から、学生の成長や教育の成果が見られた。この産学官連携事業をとおして、学生自身が自主性や行動力、協働力を会得できたことを実感し、製作面においては授業内でのゴールではなく多くの目に触れることでの達成感や自己肯定感が、成長に繋がったと考えられる。

また、将来像の明確化や自己実現に向けての第一歩として、様々な体感できたことは、今後の就職活動やキャリア形成において自信を持って自己表現できる機会となった。

一方、今後の課題として、事業を進める過程の中でいかに学生と学外関係者の関わりを持たせ、成果発表の場を共有できるかを考える必要がある。参加することの満足で終わらず、学外との関りを望む声が学生から出るような事業内容に向けて更に充実させていく。

謝辞

パールズコレクションを主催していただいた志摩市竹内市長、志摩市産業振興部推進課の皆様、モデル役での参加や多く観覧いただいた三重県立志摩高等学校の皆様、コレクション会場で設営準備にご協力いただいたホテル志摩スペイン村の皆様、ショーにゲスト出演いただいた尾崎ななみ様、演出全体にご

尽力いただいた有限会社ムツミ商会の皆様、貸衣装店さくやの皆様、サブイベントを華やかに演出していただいた立神真珠養殖漁業共同組合女子部の皆様、Nail Salon Glitter 天白麻耶様、ショー全体の司会を務めてくださいました萬上葉也加様、そして全体プロデューサーとしてお力添えいただいた株式会社アド近鉄の皆様にご心より御礼申し上げます。

引用・参考文献

- (1) 「パールズコレクション in 志摩 2020」チラシ
- (2) 本学ホームページ NEWS & TOPICS
http://www.o yg.ac.jp/js/o yg_info/news/2020-01-29-4908/
 (最終閲覧 2020 年 11 月 6 日)

*掲載写真は本学教職員撮影